

湯ノ浦温泉第1、第2及び第3源泉の混合泉（湯ノ浦受湯槽）の成分、禁忌症、適応症及び入浴上の注意（ケーオーホテル3階客室）

成 分		禁忌症、適応症及び入浴上の注意	
1 源泉名	湯ノ浦温泉第1、第2及び第3源泉の混合泉 (湯ノ浦受湯槽)	1 禁 忌 症 病気の活動期（特に熱のあるとき）、活動性の結核、進行した悪性腫瘍又は高度の貧血など身体衰弱の著しい場合、少し動くと息苦しくなるような重い心臓又は肺の病気、むくみのあるような重い腎臓の病気、消化管出血、目に見える出血があるとき、慢性の病気の急性増悪期	
2 泉 質	低張性弱アルカリ性冷鉱泉	2 適 応 症（源泉の分析結果に基づく） 筋肉若しくは関節の慢性的な痛み又はこわばり（関節リウマチ、変形性関節症、腰痛症、神経痛、五十肩、打撲、捻挫などの慢性期）、運動麻痺における筋肉のこわばり、冷え症、末梢循環障害、胃腸機能の低下（胃がもたれる、腸にガスがたまるなど）、軽症高血圧、耐糖能異常（糖尿病）、軽い高コレステロール血症、軽い喘息又は肺気腫、痔の痛み、自律神経不安定症、ストレスによる諸症状（睡眠障害、うつ状態など）、病後回復期、疲労回復、健康増進	
3 泉 温	源 泉 13.6℃（気温8℃） 使用位置 40.0℃	3 浴用の方法及び注意 ア. 入浴前の注意 (ア) 食事の直前、直後及び飲酒後の入浴は避けること。 (イ) 酩酊状態での入浴は特に避けること。 (ウ) 過度の疲労時には身体を休めること。 (エ) 運動後30分程度の間は身体を休めること。 (オ) 高齢者、子供及び身体の不自由な人は、1人での入浴は避けることが望ましいこと。 (カ) 浴槽に入る前に、手足から掛け湯をして温度に慣らすとともに、身体を洗い流すこと。 (キ) 入浴時、特に起床直後の入浴時などは脱水症状等にならないよう、あらかじめコップ一杯程度の水分を補給しておくこと。 イ. 入浴方法 (ア) 入浴温度 高齢者、高血圧症若しくは心臓病の人又は脳卒中を経験した人は、42℃以上の高温浴は避けること。 (イ) 入浴形態 心肺機能の低下している人は、全身浴よりも半身浴又は部分浴が望ましいこと。 (ウ) 入浴回数 入浴開始後数日間は、1日当たり1～2回とし、慣れてきたら2～3回まで増やしてもよいこと。 (エ) 入浴時間 入浴温度により異なるが、1回当たり、初めは3～10分程度とし、慣れてきたら15～20分程度まで延長してもよいこと。 ウ. 入浴中の注意 (ア) 運動浴を除き、一般に手足を軽く動かす程度にして静かに入浴すること。 (イ) 浴槽から出る時は、立ちくらみを起こさないようにゆっくり出ること。 (ウ) めまいが生じ、又は気分が不良となった時は、近くの人に助けを求めつつ、浴槽から頭を低い位置に保ってゆっくり出て、横になって回復を待つこと。 エ. 入浴後の注意 (ア) 身体に付着した温泉成分を温水で洗い流さず、タオルで水分を拭き取り、着衣の上、保温及び30分程度の安静を心がけること（ただし、肌の弱い人は、刺激の強い泉質（例えば酸性泉や硫黄泉等）や必要に応じて塩素消毒等が行われている場合には、温泉成分等を温水で洗い流した方がよいこと。） (イ) 脱水症状等を避けるため、コップ一杯程度の水分を補給すること。 オ. 湯あたり 温泉療養開始後おおむね3日～1週間前後に、気分不快、不眠若しくは消化器症状等の湯あたり症状又は皮膚炎などが現れることがある。このような状態が現れている間は、入浴を中止するか、又は回数を減らし、このような状態からの回復を待つこと。 カ. その他 浴槽水の清潔を保つため、浴槽にタオルは入れないこと。	
4 温泉の成分	(1) pH値 7.8 (2) ラドン含有量 $23.1 \times 10^{-10} \text{Ci} / \text{kg}$ (6.34M ^{キョーリー} ・E ^{マツヘ} / kg) (3) 試料1kg中の成分及び含有量		
イ 陽イオン			
成 分	ミリグラム (mg)	ミリバル (mval)	ミリバル% (mval%)
リチウムイオン	0.2	0.03	0.40
ナトリウムイオン	92.1	4.01	54.12
カリウムイオン	3.3	0.08	1.08
アンモニウムイオン	0.3	0.02	0.27
マグネシウムイオン	16.5	1.36	18.35
カルシウムイオン	37.3	1.86	25.10
ストロンチウムイオン	0.2	0.00	0.00
鉄(II)イオン(フェロイオン)	0.2	0.01	0.13
鉄(III)イオン(フェリイオン)	0.8	0.04	0.54
陽イオン 計	150.9	7.41	99.99
ロ 陰イオン			
成 分	ミリグラム (mg)	ミリバル (mval)	ミリバル% (mval%)
ふっ化物イオン	5.7	0.30	4.17
塩化物イオン	97.7	2.76	38.39
臭化物イオン	0.4	0.00	0.00
硫酸イオン	15.6	0.32	4.45
硝酸イオン	0.5	0.01	0.14
炭酸水素イオン	229.7	3.76	52.29
炭酸イオン	1.2	0.04	0.56
陰イオン 計	350.8	7.19	100.00
ハ 遊離成分			
非 解 離 成 分	ミリグラム (mg)	ミリモル (mmol)	
メタけい酸	42.4	0.54	
メタほう酸	1.9	0.04	
非解離成分 計	44.3	0.58	
溶 存 ガ ス 成 分	ミリグラム (mg)	ミリモル (mmol)	
遊離二酸化炭素(遊離炭酸)	5.7	0.13	
溶存ガス成分 計	5.7	0.13	
ニ 溶存物質(ガス性のものを除く)	0.5460g		
ホ 成分総計	0.5517g		
ヘ その他微量成分			
バリウムイオン	0.1 mg未満	よう化物イオン	0.1 mg未満
アルミニウムイオン	0.05 mg未満	水酸化イオン	0.1 mg未満
総クロム	0.005 mg未満	総硫化水素	0.05 mg未満
マンガンイオン	0.011 mg	チオ硫酸イオン	0.1 mg未満
銅イオン	0.007 mg	亜硝酸イオン	0.1 mg未満
亜鉛イオン	0.005 mg未満	りん酸イオン	0.1 mg未満
カドミウムイオン	0.0005 mg未満	総ひ素	0.005 mg未満
総水銀	0.0005 mg未満	セレン	0.001 mg未満
鉛イオン	0.001 mg未満		
5 温泉の分析年月日	平成28年 2月 2日		
6 登録分析機関の名称及び登録番号	愛媛県立衛生環境研究所 第1号		
成分に影響を与える項目			
1 入浴に適した温度に保つため、加温しています。	2 加温のため、浴槽ごとに循環装置を使用しています。		
3 衛生管理のため、塩素系薬剤を使用しています。			

愛媛県今治保健所



平成29年3月9日